

構成員意見要旨

1 県内産業の成長を担う人材の確保

団体名	意見・提言
静岡県経営者協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍は、静岡県の産業人材確保にとって大きなチャンスである。「30歳になったら静岡県」など暮らしにフォーカスしたプロモーション活動を、若者に届くチャンネルで積極的に実施することが重要と考える。
静岡県商工会議所連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 首都圏からの人材（新卒・中途）を確保するため、県単位でのPR施策の拡充。 ・ 地域企業と即戦力になる首都圏の副業・兼業プロ人材をつなぐ取り組みの推進、及び地方での副業経験及び副業希望の首都圏等人材コミュニティの形成、企業×副業人材交流イベントの企画・運営サポートへの支援をお願いしたい。 ・ 静岡U・Iターン就職サポートセンターが取り扱う相談者の情報について、各市町と共有できていないために、市町が持つ、相談者のニーズに即した企業情報の提供が行われていない。U・Iターン先市町とセンターが情報共有を行い、緊密に連携するスキームを、3月の就活解禁に向けて構築いただきたい。
静岡県商工会連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生等の県外流出の歯止めとなり得る施策、Uターン率向上に向けての施策の推進をお願いしたい。 ・ 新卒ではなく一定の社会人経験のある方を求めている企業も決して少なくなく「30歳になったら静岡県＝ふじのくににパスポート事業」及び高齢者とのマッチングを行う高齢者雇用コーディネーターの活動は重要と考えている。
静岡県中小企業団体中央会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の地域企業への就職、多様な人材の採用について、行政、経済団体、大学等教育機関、女性・シニア支援機関などの情報交換や連携構築の場づくりや支援強化を望む。
静岡県農業協同組合中央会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「しず農コネクト」では“農業”を多様な働き方の一つとして認知し、参画してくれる企業等を探しているため、その橋渡しをお願いしたい。 ・ 繁閑期の異なる異業種間での雇用リレーなどの仕組みづくりに力を貸して欲しい。
静岡県森林組合連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍における就業説明会等への支援に期待。
静岡県漁業協同組合連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立関係教育施設（焼津水産高校、漁業高等学園）出身者が長期研修を受ける事例が多数あり、その後の継続就業率が高

	<p>い。引き続き、県内漁業の担い手となる人材の輩出に期待する。特に漁業高等学園は、漁業船舶の従事者として「即戦力」となりうる実践教育に特化されており、漁業会の振興に大きな後押しとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的意識のはっきりした人材の確保が出来る取り組みには、県の適切なる予算や施策対応が処置頂けるよう、是非お願いしたい。
静岡県建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に伴い発生する事業費について、費用補助をいただければありがたい。 小中高校及び大学への広報について、特定の業種及び団体のみを対象とした活動を受け入れることに慎重となる学校も多く、県と連携した形を取ることで実施できている事業も多い。県内の学生はもとより、県外からのUターン就職等を対象とした事業について情報の提供や協力をいただきたい。
社会福祉法人経営者協議会	<ul style="list-style-type: none"> 介護・保育需要は、益々高まっている中で、人材確保に困難を極めている法人が多い。かつて静岡県が積極的に行っていた福祉を育てる県民運動のような普及活動を実施して欲しい。 静岡県内には、近年多くの大学が設置されているが、一方で介護人材を育成する専門学校は急激に減っている。勢い介護を学ぼうとする人材は県外に流出してしまう。地域で介護人材を育てる取り組みを検討してもらいたい。
日本労働組合総連合会静岡県連合会	<ul style="list-style-type: none"> 県内における遊休施設等の情報発信など、首都圏へのPRをより活発に行うことで企業を呼び込むことによって、移住定住による人材の確保等に寄与するような取組を期待する。
ふじのくに地域・大学コンソーシアム	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のなかでの大学生の就職については学就連等と連携して県内経済団体に対して意見・要望を伝えていけるシステムがあると安心できる。
静岡県私学協会	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、子どもたちが社会と接する機会を作る良案があればぜひ情報を提供していただきたい。

2 高度な知識と技術を持つ人づくり

団体名	意見・提言
静岡県経営者協会	<ul style="list-style-type: none"> 農林環境専門職大学・同短大や工科短期大学校、健康福祉大学院大学など、静岡県立の実業の短大、大学、大学院が整備されてきた。これを広く知らしめ有効に活用していきたい。
静岡県中小企業団体中央会	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり県の人材育成拠点としての県立短大の魅力アップ要。学生への魅力発信、企業への周知・利用促進、学生への就職・進路支援。

静岡県森林組合連 合会	<ul style="list-style-type: none"> 県立農林環境専門職大学からの新規就業に期待。
日本労働組合総連 合会静岡県連合会	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県立工科短期大学の開校が本年4月に予定されており、高度な技術習得が出来る環境への期待と、他方、高度な技能習得をされた優秀な人材を県内企業内で活躍できる体制整備をお願いしたい。
静岡県私学協会	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から清水国際高等学校から静岡県立工科短期大学へ5名の生徒が入学することになっている。生産現場で働く人材の育成に期待している。

3 誰もがいきいきと働ける環境づくり

団体名	意見・提言
静岡県経営者協会	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革はコロナ禍で足踏みした面もあるが、テレワークなど一気に進んだ面もある。関連法の施行や最高裁判決など次々と出てきており、コロナ禍を理由に足踏みしては行かない。デジタル化と合わせ、しっかり推進していく。
静岡県中小企業団 体中央会	<ul style="list-style-type: none"> 外国人のコロナ対応等手続きや滞在費などのコスト負担が監理団体に集中しており、制度の持続的活用のためには支援が必要。
オールしずおかベ ストコミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> B型事業所の利用者が一般就労しやすいように就労マッチング支援を、ハローワーク、福祉事務所、支援機関等の水平連携を実施できる環境整備をお願いしたい。 B型事業所から就労促進に向けた、自主製品の付加価値を高める工夫、作業の効率化、一般就労の関心を高める企業見学会の開催などのシステム作りが必要。それを達成する方法として3～4か所のモデル事業を設け、人材育成、スキルアップ拠点としたらどうか。 特に知的障害者がテレワークに慣れるよう支援ができないか。

4 その他

団体名	意見・提言
静岡県ホテル旅館 生活衛生同業組合	<ul style="list-style-type: none"> GOTOトラベル事業の停止に伴い、融資を受けたいとする事業者が出てくるのが想定されるので、円滑な融資が受けられるよう民間金融機関の指導をお願いしたい。